

2018（平成30）年度

音楽学部一般入学試験課題曲
＜前期A日程＞

試験日：2018年1月29日（月）～ 1月30日（火）

神戸女学院大学

一般入学課題曲

※実技試験は暗譜（別途指示のある場合は除く）とする。
※受験曲目カード提出後の曲目変更は認めない。

器楽専攻

ピアノ

課題曲 : 15分程度の自由曲
ただしJ.S.Bach:平均律クラヴィア曲集の中から任意の1曲(プレリュードとフーガ)を含むこと。

ピアノ専攻志願者は希望によりオルガン専攻またはチェンバロ専攻を第2希望とすることができる。ただし、この場合、志願票にはピアノ専攻の方だけを記入し、第2希望欄のいずれかの専攻を○で囲むこと。

オルガン

I. オルガンで受験する場合

課題曲 : J.S.Bachの作品の中から任意の曲(複数曲でも可)を選び演奏する。
演奏時間は、5分～10分程度とする。
楽譜を見て演奏してもよい。楽器は試験前に試奏できる。
アシスタントが必要な場合は事前に音楽学部事務室に連絡すること。

II. ピアノで受験する場合

課題曲 : 10分程度の自由曲。ただしJ.S.Bachの作品を含むこと。(複数曲でも可)
暗譜で演奏すること。

チェンバロ

I. チェンバロで受験する場合

課題曲 : 10分程度の自由曲。ただし J.S.Bachの作品を含むこと。(複数曲でも可)
楽譜を見て演奏してもよい。楽器は試験前に試奏できる。

II. ピアノで受験する場合

課題曲 : 10分程度の自由曲。ただし J.S.Bach:平均律クラヴィア曲集の中から任意の1曲(プレリュードとフーガ)を含むこと。
暗譜で演奏すること。

ハープ

課題曲 : 自由曲1曲

副専攻ピアノ実技 ソナチネ または ソナタ より1つの速い楽章を選択し、繰り返しなしで演奏する。

ヴァイオリン

課題曲 : 自由曲1曲

副専攻ピアノ実技 ソナチネ または ソナタ より1つの速い楽章を選択し、繰り返しなしで演奏する。

ヴァイオリン専攻志願者は希望によりヴィオラ専攻を第2希望とすることができる。
ただし、この場合、志願票にはヴァイオリン専攻の方だけを記入し、第2希望欄のヴィオラ専攻を○で囲むこと。

ヴィオラ

課題曲 : 自由曲1曲

副専攻ピアノ実技 ソナチネ または ソナタ より1つの速い楽章を選択し、繰り返しなしで演奏する。

チェロ

課題曲 : 自由曲1曲

副専攻ピアノ実技 ソナチネ または ソナタ より1つの速い楽章を選択し、繰り返しなしで演奏する。

コントラバス

課題曲 : 自由曲1曲

副専攻ピアノ実技 ソナチネ または ソナタ より1つの速い楽章を選択し、繰り返しなしで演奏する。

弦楽器・管楽器・打楽器の実技試験での伴奏は不要。無伴奏で行う。

フルート

課題曲 : 自由なエチュード(練習曲)1曲と自由曲1曲

副専攻ピアノ実技 ソナチネ または ソナタ より1つの速い楽章を選択し、繰り返しなしで演奏する。

オーボエ

課題曲 : 自由曲1曲(エチュードを含む)

副専攻ピアノ実技 ソナチネ または ソナタ より1つの速い楽章を選択し、繰り返しなしで演奏する。

クラリネット

課題曲 : 自由曲1曲(エチュードを含む)

副専攻ピアノ実技 ソナチネ または ソナタ より1つの速い楽章を選択し、繰り返しなしで演奏する。

トランペット

課題曲 : 自由曲1曲(エチュードを含む)

副専攻ピアノ実技 ソナチネ または ソナタ より1つの速い楽章を選択し、繰り返しなしで演奏する。

トロンボーン

課題曲 : 自由曲1曲(エチュードを含む)

副専攻ピアノ実技 ソナチネ または ソナタ より1つの速い楽章を選択し、繰り返しなしで演奏する。

その他の管楽器

ファゴット、ホルン等

課題曲 : 自由曲1曲(エチュードを含む)

副専攻ピアノ実技 ソナチネ または ソナタ より1つの速い楽章を選択し、繰り返しなしで演奏する。

弦楽器・管楽器・打楽器の実技試験での伴奏は不要。無伴奏で行う。

打楽器

(1) 小太鼓

基本打法

- i) Two stroke roll. ii) Five stroke roll.

以上2つの基本打法より当日指定する。

(2) 下記のうちどちらか1曲を選択

① 小太鼓 課題曲 : A.J.Cirone : 50 Studies for Snare Drum より No.9
(小太鼓の課題曲は楽譜を見て演奏してもよい。)

② マリンバ 課題曲 : 自由曲1曲(エチュードを含む)

副専攻ピアノ実技 ソナチネ または ソナタ より1つの速い楽章を選択し、繰り返しなしで演奏する。

弦楽器・管楽器・打楽器の実技試験での伴奏は不要。無伴奏で行う。

A.課題曲 下記の曲より任意の1曲を選択すること。

- Pergolesi : Se tu m'ami
- Caldara : Sebben, crudele
- Caldara : Selve amiche
- Scarlatti : Le violette
- Scarlatti : Già il sole dal Gange
- Gasparini : Lasciar d'amarti
- Durante : Vergin, tutto amor

B.課題曲 下記の曲より任意の1曲を選択すること。

- Bellini : Vaga luna, che inargentì
- Donaudy : Quando ti rivedrò
- Tosti : Lungi
- Tosti : Preghiera
- Beethoven : Ich liebe dich
- Brahms : Sonntag
- Schubert : An die Nachtigall
- 山田耕筰 : この道(1、2番のみ)
- 平井康三郎 : 平城山
- 中田善直 : むこうむこう

C.自由曲 : 上記A、Bの曲を除く1曲。

※注意事項

歌唱はすべて暗譜による。

歌詞はいずれも原語を用いること。

なお、オペラのアリアは原語・原調とするが、とくに慣例のあるものはそれによってもよい。

A、B、Cいずれの曲目も、受験曲目カードに記入し、楽譜を提出すること。

声乐実技の伴奏者は本学で用意します。

副専攻ピアノ実技 ソナタ より1つの速い楽章を選択し、繰り返しなしで演奏する。

主専攻課題

A. 必須

和声 バス課題(転調を含まない) ————— 1時間

B. 以下の中から1つの課題を選択

①和声 ソプラノ課題(非和声音、転調を含む) — 90分

②与えられた主題による作曲 ————— 3時間

③与えられた主題による即興演奏 ————— 準備40分のあと5～10分程度の演奏
(準備中に作ったメモを見てよい)

④楽譜作成ソフトを用いた編曲 ————— 3時間

⑤音楽に関する小論文 ————— 90分

(例:音楽と現代社会、ショパンの音楽について)

※上記課題④で使用するコンピュータOSはMacOSX、楽譜作成ソフトはFinale2012Jです。

副専攻ピアノ実技課題：A、Bを演奏すること

A. 以下の中から任意の1曲

J.S.Bach：平均律クラヴィア曲集よりフーガ、インヴェンション、シンフォニア

B. 自由曲(現代曲を除く)

※上記課題の詳細は、本学音楽学部にお問い合わせください。

舞踊専攻

舞踊実技

①自由課題

クラシカルバリエーション、もしくは受験者自身により振り付けされたダンス、または2000年以降に振り付けされたコンテンポラリーダンス、モダンダンス、キャラクターダンス(民族舞踊含む)、ジャズダンス、ヒップホップの中から、受験者が自己を表現するために最も適すると思われる踊りを選び、2分以内の発表をする。

音源はCD、またはMDとする。受験者は当日使用するCD、MDを持参すること。

また、無音で演じることも可とする。レオタード、タイツを使用。シューズは自由(素足でも良い)。

②指示課題

受験者のバレエ、コンテンポラリーダンス、モダンダンスなどの舞踊全般にわたる可能性を見極めるための試験。舞踊経験が長い者、短い者、また現時点での技術の完成度を見定めるものではなく、舞踊を専攻するための肉体的かつ精神的可能性をみることを目的とする。

試験はグループによって行われ、課題は試験当日指定される。

レオタード、タイツを着用。バレエシューズ使用のこと。

リズム・ソルフエージュ

試験当日掲示されるリズム譜(8小節、2曲)を、片手または両手を使ってリズム打ちする。

試験前に別室において課題のリズム譜を読譜する時間を3分間与える。

【出題例】(メトロノームでテンポを指示します。)

[1]

♩ = 80

右手

||

[2]

♩ = 72

右手

左手

||

